

えくび通信

令和七年五月号(第八十三号)

恵久美を元気にする会
090-3184-4467

カラー版は
こちら↓

れんげの海で出会う、子どもたちと笑顔

恵久美環境保全会

4月25日(金)、恵久美環境保全会主催の「恵久美れんげ畑の集い」が、恵久美上沖東のれんげ畑で開催されました。松前町立白鶴保育所の3歳から5歳の子どもたち40名

と、デイサービス「さくら」の利用者のみなさんが参加し、賑やかな一日となりました。昨年10月に播かれたれんげ草が、約20アールの田んぼ一面に淡いピンク色の花を咲



かせ、春の光に輝いていました。子どもたちは「蜂が飛びよる!」と歓声をあげながら、花を摘み、花飾りを作り、田んぼの中を元気いっぱい駆け回っていました。外の空気も心地よく、暑すぎず寒



すぎず、自然の中で伸び伸びと遊ぶ子どもたちの姿がとても印象的でした。デイサービス「さくら」の利用者のみなさんとの交流では、子どもたちが「春ですネ春ですネ」と元気な歌声を披露。高齢者の方々も「何歳?何組?」と優しい声をかけ、世代を超えた温かなふれあいの時間となりました。見守る先生方や恵久美スタッフの表情も、自然とほころびます。この集いは、恵久美環境保全会の「農業・農村の多面的機能推進活動」の一環で、地域と農業の大切さを伝え、世代を超えた絆を育むことを目



的に毎年開催されています。7月には「水生生物生き物教室」や「外来種の駆除活動」など、自然とのふれあいを深めるイベントも予定しています。れんげ畑で無邪気に遊ぶ子どもたちの笑顔に、未来への希望を感じる一方、世界各地で報道される戦禍に苦しむ子どもたちを思い、平和な世界を願わずにはいられません。自然の恵みに包まれたこの時間が、子どもたちの心に優しい記憶として残ってくれることを願っています。恵久美環境保全会広報担当

山本正司